

令和7年度

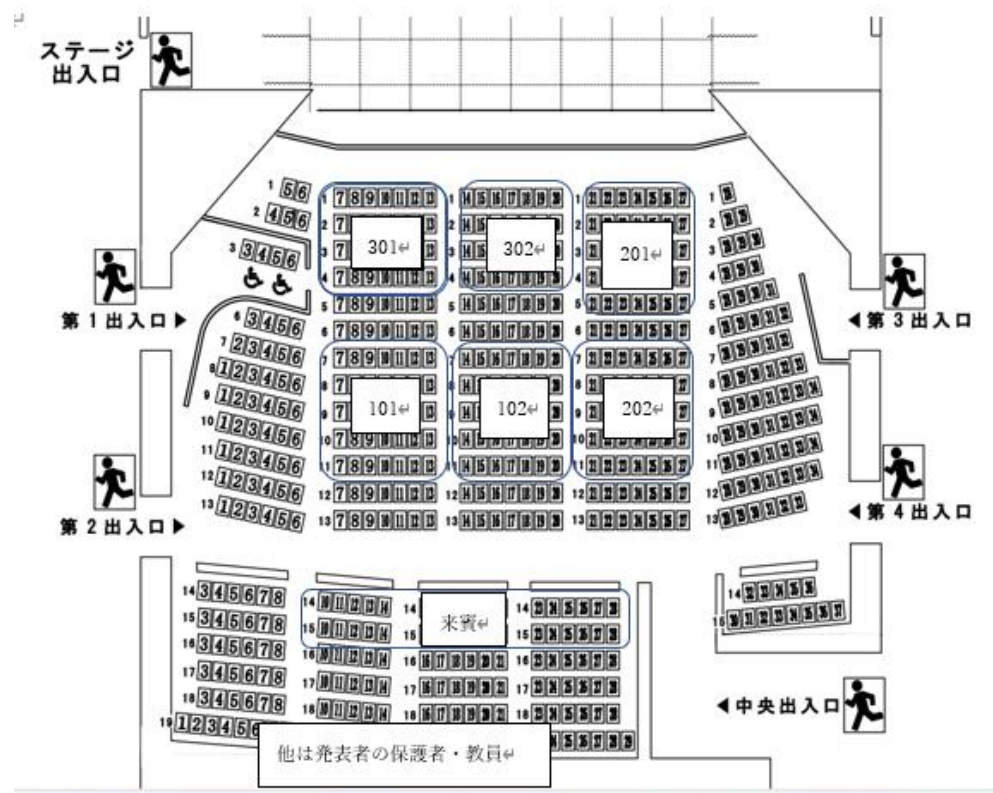
「総合研究」全体発表会



愛媛県立北条高等学校

令和7年12月16日（火）

会場 松山市北条市民会館



〈参加の皆様へ〉

- 生徒は北条市民会館前部で参観、関係の皆様には会館後部で参観していただきます。
- 市民会館前と市民会館北側及び北条支所前に駐車場があります。

令和7年度 「総合研究」全体発表会 プログラム

会 次 第

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 開会のことば | 4 発 表 |
| 2 校 長 挨 拶 | 5 校 長 講 評 |
| 3 生徒代表挨拶 | 6 閉会のことば |

■ 開会行事(9:10～9:20)

■ 第1部 (9:20～10:20)

順	「発表テーマ」内容概要	発表生徒氏名
1	「工夫で嫌いな物を克服できるのか」 「工夫で脳はだませるのか」という視点から、嫌いな食材を食べられるようになれば食をもっと楽しむことができると考え、嫌いな野菜についてアンケート調査をしました。その結果をもとにその野菜への嫌いな気持ちを少しでも変化させることができないかを考え、レシピを考案し試作研究しました。	301 岡本 龍樹
2	「風早 HOPISTEP!!JUMP!!!」 世界中で問題となっている海ごみ問題。私たちは海でのごみ拾いや作品制作などを行いながら、プラスチック素材による油の吸収率の違いについての研究を行った。	302 河野 風綺 302 戸田 沙妃
3	「睡眠について」 みなさん毎日ぐっすりと眠れていますか？私たちの健康を維持するために必要な「睡眠」について研究しました。私の発表を聞いて、今夜からみなさんもぐっすり眠れます。	301 中矢 拓希
4	「昆虫にも好みの食べ物はあるのか??」 昆虫たちにも好みの食べ物があるのかという疑問を解決したいと思い、4種類のカブトムシ、クワガタにバナナ、リンゴ、スイカ、パイナップルを使って研究を行った。	302 片山 奏
5	「北条活性化 PROJECT2025～地元で愛されていた『じゃろっけ』の復活とボーダレスなイベント」 人口減少が進む北条。若者が「戻りたい」、高齢者が「居心地が良い」と思う街の実現を目指し、「多様性に対応する地域イベントの在り方」について研究しました。具体的には、高校生がイベントの企画や運営に参加し、地域外からの関係人口増加につなげます。また、インバウンド(訪日外国人観光客)の視点も取り入れ、国際的な賑わいを創出します。これから、関わった全ての人が明日への活力を蓄え、笑顔のループが生まれる温かい街を目指す研究について、発表します。	301 内田 優音 301 亀井 悠翔

■ 休憩 (10:20～10:35)

■ 第2部 (10:35～11:35)

順	「発表テーマ」内容概要	発表生徒氏名
6	「チョコレート未来のために」 私はチョコレートが大好きですが、その生産背景には児童労働やカカオ農家の高齢化など様々な問題があることを知りました。果たして、チョコレートの未来は守れるのでしょうか？！	301 原 愛菜
7	「北条秋祭り×地域活性化」 私は北条の秋祭りが大好きです。しかし、担ぎ手不足で困っています。祭りによって地域が活性化すれば、担ぎ手不足の解消につながるのではないかと考えました。祭りの初日に集会所に来ている人にアンケートをとりました。結果は・・・	302 新田 倅也
8	「松山市民会館代替施設の必要性に関する一考察～高校吹奏楽部員の立場から～」 現在、老朽化が進む松山市民会館の閉館時期や代替施設の必要性について広く議論が交わされている。松山市民会館の代替施設がないということは、単に「演奏を披露する場が減る」というだけでなく、愛媛の文化が寂れ、豊かな人生が送ることができないということになる。 そこで、「松山コンサートホールを創る会」や「愛媛・松山の明日を創る会」にも御助言いただき、全日本吹奏楽コンクールを例に本県の吹奏楽レベルがいかに高いか検証し、松山市民会館の代替施設の重要性を訴えたいと考え、本研究を行った。	302 横本 愛美
9	「流行歌からみる世相～1990年代と2020年代ヒット曲の比較～」 バブル期と現代では日本の流行歌の歌詞や曲の傾向にどのような違いがあるかを明らかにし、共感されるテーマが世相をどのように反映しているかを研究した。	301 成松 尚輝
10	「生分解性プラスチックの耐久性～生活の中に取り入れることは可能か?～」 通常のプラスチックは自然界に流失した場合、半永久的に残り続けるという問題がある。自然に還元される生分解性プラスチックを利用すれば問題が解決できると考えられるが、生活の中に取り入れて使用するためには耐久性が必要である。 本研究では、牛乳から生プラスチックを作成し、耐久性について実験し、従来のプラスチック製品と置き換えることは可能かどうか考察した。	301 中岡 穂香

■ 講評・閉会行事(11:35～11:45)